

私たちも応援します

CONGRATULATIONS

教養教育院



院長
齊藤 隆仁
(さいとう たかひと)

徳島大学へ入学おめでとうござ
います。

大学での学びは一般教養教育科
目、基礎基盤教育科目、外国語教
育科目などの「教養教育」から始
まります。1年生の段階では、幅
広い教養や知識を身につけること
になります。しかし、皆さんの中
には「一刻も早く、専門を学びた
い」という気持ちを持つ方もおら
れると思います。

なぜ、教養教育から始めるの
でしょう。実は「今役立つこと
は、すぐに役立つなくなるかもしれ
ない」からです。現在の情報社
会(Society4.0)は、今後経済発展
と社会的課題を両立する人間中心
の社会(Society5.0)に移行するこ
とになります。そこでは人口知能

(AI)の活用により、今後十年
から二十年で半数の仕事がAIに
とって代わられるとの予想があり
ます。そうした社会の中で新たな
価値を見出して、生き生きと仕事
を作り出していくには、深く専門
知識を学ぶだけでなく、広く文化
や社会に目を向け、これまでの人
類が獲得してきた叡智を身につけ
ることが、新たな価値の発見につ
ながります。

高等学校までは、答えがひとつ
の問題に答えることができる学習
をしてきました。大学では、答え
が1つとは限らない問題を考える
ことがしばしばあります。また、
答えにたどり着くまでの方法も
様々です。そうなたたきに役立
つのは「学ぶ力」です。そのため
に、今から学ばず教養教育でまず「学
ぶ力」を作るのです。

教養教育では、今まできちんと
学ぶことが無かったことや、いま
で学んでいたことを新しい角度
から見つめなおすことができる、
様々な講義が用意されています。これ
初めて学ぶ語学もあります。これ



らの講義の中から、自分の興味が
あるものを選んでいくことになり
ます。教職員一同、皆さんの学び
を支える体制を作って待っていま
す。

教養教育院ホームページ
URL: <http://las.tokushima-u.com/>



履修の手引き・時間割・
シラバス(授業概要)
<http://las.tokushima-u.com/campus-life/>



学務部



教育支援課
教養教育係
吉田 智美
(よしだともみ)

新入生の皆さん、ご入学おめで
とうございます。

新入生の皆さんが最初に学ぶ授
業に「教養教育科目」があります。
たくさんの授業科目から、自分で
学びたい授業を選び、時間割を作
ります。大変な作業ですが、履修
の手引や教養教育院HPのシラ
バス(授業概要)をよく読み、慎
重に履修登録してください。一つ
の授業に履修希望者が大勢いた場
合、抽選を行うことがあります。
抽選に外れた時のことも考えて、
第二・第三希望の授業を決めて履
修登録に臨みましょう。

また、教養教育では、語学運用
能力向上のために、語学マイレ
ジ・プログラムを実施していま
す。外国語科目や外国語技能検定
試験の成績などがマイレージポ
イントとして加算され、700ポ
イント以上の取得が卒業要件に課
されています。その他にも、多言
語交流コミュニケーションプラザでは、
様々な言語や文化に触れることが
でき、地域創生・国際交流会館に

は語学学習の支援に特化した「語
学学習相談コーナー」(1階)も
設けているので、ぜひ活用して
みてください。

他の学部の教員や学生との交流
の輪を広げ、いろいろなことに挑
戦して自分の視野を広げてくださ
い。

教養教育の授業に関する連絡
(休講、教室変更、試験等)は、教務
システムに掲載されるか教養教育
の掲示板に掲載されます。教務シ
ステムから配信される情報は、c
アカウントメールに転送すること
ができますので、各自で登録する
ことをお勧めします。

教養教育科目の履修や、語学マ
イレージ・プログラムについて悩
んだ時は、教育支援課教養教育係
(教養教育4号館1階)へ相談に
来てみてください。新入生の皆さんが有
意義な大学生活を送れるよう応援
しています。



附属図書館



図書情報課
利用支援係
遠藤 博文
(えんどう ひろふみ)

新入生の皆さん、ご入学おめで
とうございます。

図書館とは、皆さんにとつてど
のようなイメージでしょうか。大
学図書館は、単に「本を読んだり
借りたりするだけの場所」ではあ
りません。大学生になると、自主
的に学習や研究をする機会が増え
てきます。普段の勉強に加え、試
験対策やレポート等の課題、やる
べきことがたくさんあります。

そのようなときに、ぜひ
利用していただきたいのが
附属図書館です。

附属図書館には学習や
研究のための専門書、小
説などの本のほかに、も
雑誌やCD・DVD、電
子ブック、電子ジャーナ
ルといった資料が数多く
あります。

また、館内パソコンで
は、このような資料を利用
しての学習や、授業の
履修登録をすることが可
能です。

さらに、静かに自主学



図書館多読コーナー写真

習したいという方にはサイレン
ト・ゾーンにある学習室や研究個
室を、話し合いやプレゼンの練習
をする方にはグループ学習室や
机・椅子のレイアウトを自在に変
更し対話のできる「ラーニング・
コモンズ」のエリアをご利用いた
だけます。

附属図書館では皆さんの学習を
サポートするサービスも積極的に
行っています。文献検索講習やレ
ポートの書き方講座をはじめとす
る各種講習会の開催、英語学習に
は「多読コーナー」で児童書等の
簡単な洋書を読んで英語の語彙力
を伸ばすことを推奨しています。
学習していて困ったことがあれ

ば、迷わず相談に来てください。
教員・大学院生が課題の疑問点や
学生生活等の相談にのつてくれ
る学習相談窓口(Study Support
Space)や、学習に役立つ展示・
イベントを随時開催しています。
サービスに関するお知らせを含
め、附属図書館の最新情報は、ホ
ムページや、公式SNSでもご
覧いただけます。

ぜひチェックしてみてください
い。皆さんのご利用をお待ちして
います。



図書館ホームページ
URL: <https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

キャンパスライフ 健康支援センター

アクセシビリティ支援部門長
住谷 さつき
(すみたに さつき)

新入生の皆さんご入学おめでと
うございます。キャンパスライフ
健康支援センターは学生の皆さん

の心身の健康維持と修学しやすい
環境づくりのお手伝いをしていま
す。キャンパスライフ健康支援セ
ンターには保健管理センター(保
健管理部門)、総合相談室(総合相談
部門)、アクセシビリティ支援室(ア
クセシビリティ支援部門)の3つの
部署があります。

保健管理センターでは、定期健
康診断や体調が悪いときやけがを
したときの診察・処置を受けるこ
とができます。また心身の健康に関
する相談も受け付けています。常
三島キャンパスのヘルスチェック
ルームには健康管理のための測定
機器やランニングマシンなどの
運動機器を備えており、健康増進
のための健康教室も定期的に開催
しています。

総合相談室では公認心理師と臨
床心理士の資格を持つカウンセ
ラーが学生と教職員の相談に応じ
ています。勉強や研究、人間関係、
進路、精神面、ハラスメント等、
学生生活に関するあらゆる相談に
応じます。また、学生同士の交流
の場として、グループワーク「ほっ
との会」と「ほっとカフェ」を開
催しています。

アクセシビリティ支援室は、身
体障害、発達障害、精神障害など
さまざまな障害をもつ学生の修学
における相談に応じ、所属学部

や医療機関と連携しながら、より
よい学生生活を送れるよう支援を
行っています。障害のある学生に
は個別に支援計画を立て合理的配
慮を提供できるようにしていま
す。また、障害への支援を学ぶ
講義を前後期に開講し勉強会やサ
ポート実習を行ってピアサポー
ターやアクセシビリティリーダー
の育成をしています。

キャンパスライフ健康支援セン
ターは皆さんの学生生活を支援し
ています。どうぞ気軽に利用して
ください。

利用案内
利用時間 月～金 8:30～17:15
常三島キャンパス:保健管理部門、総合相談部門(教養教育5号館1階)、
アクセシビリティ支援部門(教養教育4号館1階)／
蔵本キャンパス:保健管理部門、総合相談部門(蔵本会館2階)
●保健管理部門
Tel: 088-656-7289(常三島) Tel: 088-633-7591(蔵本)
●総合相談部門
予約制となっていますので下記までご連絡ください。
Tel: 088-656-7637(常三島・蔵本共通)
E-mail: hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp
●アクセシビリティ支援部門
Tel: 088-656-9975
E-mail: syuugakusien@tokushima-u.ac.jp

キャリア支援室

学生支援課 キャリア支援係
宮本 康史（みやもと やすし）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

キャリア支援室は、就職活動に関わらず、進路や自己実現といったキャリアに関するものであれば、学年を問わず幅広く利用していただくことができます。まずは、ちょっとした相談や質問でいいので、気軽にお越しください。

徳島大学では、1年生から自己分析・適正把握、業界・企業分析、社会人基礎力等に関する授業を行っており、3年生では短期インターンシップの授業で実際に学生を職業体験の場へと送り出しています。

インターンシップは、実際に現場で仕事に触れることで、職業観の醸成や将来設計等に役立つものです。1～2年生から参加できるものもあるので、興味のある業界・企業はもちろん、それほど興味のない業界や企業であっても、積極的に参加してみてください。その決断が自分の将来を大きく変えるかもしれません。

キャリア支援室では、皆さんのキャリアや就職活動、インターン

インターナショナル オフィス

高等教育研究センター 教授
橋本 智（はしもと ちとせ）

徳島大学へようこそ。これから日本、そして世界へ羽ばたく皆さんを歓迎します。インターナショナルオフィスは徳島大学の国際交流の拠点であり、大学と地域のグローバル化の推進役を果たしているところです。日本人学生、外国人留学生、地域の方々、そして教職員がともに学び、世界に目を向け、多文化を理解することができるよう、様々な活動を通して皆さんをサポートします。徳島大学には約250人の外国人留学生が在籍しています。また、サマープログラムや政府招聘プログラムなどでも多くの外国人留学生が大学に来ます。皆さんには大学生活を通して様々な国から来た外国人留学生と交流する機会がたくさんあります。「学生サポーター」に登録したり、毎週行われる「グローバルランチ」に参加すれば、外国人留学生との交流機会が更に増えます。ぜひ、多くの外国人留学生と知り合い、多文化理解を深めてください。

同時に、私たちはより多くの



キャリア支援室

シップに関する相談を受け付けているほか、求人票や企業情報などを提供しています。

また、エントリーシート添削や面接練習、就職ガイダンスなどの実施、就職関係図書の貸出しなど、就職活動が終了するまで様々なかたちで皆さんをサポートしています。

一人であれこれ悩んでいても、良い答えが見つからないときがあります。そんなときこそ、キャリア支援室を利用してください。皆さんが必要とする情報やアドバイスを得られ、納得のいく答えを見つめることができます。

これから多くの皆さんが関わる就職活動は、人生の大きな分岐点です。その場面で、自分を見つめ直すことは新しい自分を発見し、新たな道に踏み出すチャンスでも

あります。そんな大変な時期だからこそ、弱音を吐きたくなることもあるかもしれません。そんな時はキャリア支援室で息抜きをしてはいかがでしょうか。

情報センター

情報センター 教授
松浦 健二（まつうら けんじ）

ようこそ徳島大学へ。ご入学おめでとうございます。

みなさんがこれから過ごす大学生活では、実世界としての大学キャンパスと、ネットワークを介する仮想空間があります。両者は、相互作用により付加価値を高めるサイバーフィジカルな世界へと進んでおり、その変化は加速しています。

情報社会の変化は遠いところでも起こるだけでなく、身の回りでも常に発生しています。センサーやカメラはあちこちに敷設され、情報収集機器から得られるデータは、ビッグデータと呼ばれ、人間の知的な生産活動や安全性の向上に活かされます。情報活用の上で具体的な事例は、自動車のナビゲーションや自動運転、天気予報、医療現場、学習支援などあらゆるものが該当

します。

情報をうまく活用するための知識やスキルは、今後の皆さんの人生を左右するほど重要です。ただ、見聞きする直接的な対象だけを常に捉えるようだと、先述の「変化」に対応することが難しい側面もあります。メタな知識やスキルを身につけるのがコツだと個人的には思っています。大学では、先端かつ高度な授業内容とともに、学び方を自ら学ぶという姿勢を習得していただきたいところです。

さて、情報センターは、インターネットやキャンパスネットワークの運用、基盤となるサーバー・情報サービスの運用、さらには個々のコンピュータ（PC）やソフトウェアの利用支援などを行っています。また、これらを活用する上で重要な情報セキュリティについても維持・向上を推進する組織となっています。

情報活用や文書作成、データ処理やソフトウェア開発をするにはオペレーティングシステム（OS）やアプリケーションをPC上で使うことでしょう。PCは、ネットワークやUSB等、外界と接続されるものでは何らかの脆弱性、セキュリティ対策をせずに使うことはできません。基本的に

はOSを最新の状態にし、セキュリティソフトによる対策が最低限必要です。コンピュータを使う以上はこうしたセキュリティの観点もしっかりと身につけてください。

我々は、皆さんが大学生活を通じて勉学や知的生産活動のパートナーとなるコンピュータやネットワークの専門家として、皆さんを応援します。ネットワーク接続だけでなく、教育用端末、電子メール、ソフトウェア、クラウドサービス、それらを使う際のアカウント等について、気がついたこと、困ったことがあればぜひ情報センターに相談してください。みなさんの有意義なデジタルライフを応援します。



情報センターホームページ

URL: <https://www.ait.tokushima-u.ac.jp/>
E-mail: callcenter.ait@tokushima-u.ac.jp
tel: 常三島: 088-656-7557 蔵本: 088-633-7708
窓口: 平日 8:30-17:15
●常三島: 情報センター棟1F
●蔵本: 図書館1F

学生の皆さんに海外留学を経験してほしいと思っています。2019年度の夏と春には韓国、マレーシア、オーストラリア、アメリカ、カナダ、ニュージーランドの短期海外留学プログラムに合計110人が参加しました。短期海外留学プログラムは、これまで外国に行ったことがない人も安心して参加できる留学プログラムです。大学全体では1年で230人ほどが海外留学をしています。海外留学をすると、全く新しい発見と出会いがあります。自分と自分の視野を広くすることもできます。常三島の地域創生・国際交流会館4階及び蔵本会館2



短期海外留学(マレーシア)



●国際センター ホームページ
URL: <https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>
地域創生・国際交流会館4階
●国際課
E-mail: ryugakuk@tokushima-u.ac.jp
常三島キャンパス: 地域創生・国際交流会館4階
蔵本キャンパス: 蔵本会館2階

徳島大学 生活協同組合

専務理事
高橋 敬司（たかはし けいじ）

ご入学おめでとうございます。徳島大学生協は、徳島大学の学

生・教職員が加入し構成する学内の福利厚生団体です。「徳島大学の福利厚生の充実と魅力ある大学づくり」に貢献すること」を目的とし、食堂・購買・書籍（教科書）・住まい紹介や管理・旅行サービスなど、学生生活に必要なものやサービスを提供しています。学生の皆さまには、大学生活を健康安全に過ごしてほしい」と願っています。そのためには生活習慣を整えること、特に「食事」が重要です。大学生は大学の講義以外にもサークルやアルバイトなど様々な活動に取り組んでいます。忙しくなると欠食や簡便食で済ませることががちです。一定時間間にバランスのとれた食事を摂るようにし、元気に活動に取り組みましょう。生活食堂は安全な食材を使用したメニューを豊富に用意し、一日3食バランス良く食事ができる環境を提供します。食事の参考栄養価をレシートに印字しているの、栄養バランスを日々意識することが出来ます。不足しがちな野菜もしっかり摂れます。生活食堂を活用して健康的な食生活を送ってください。

また生協では、学生どうしの「たすけあい」の制度「学生総合共済」や、他人に迷惑をかけて損害賠償を請求された場合に保障する

「学生賠償責任保険」を取り扱っています。思いがけない事故や病気を合わせて安心・安全な学生生活をおくろうという趣旨の制度です。万が一の際の保障だけではなく、自転車やバイクの無料点検、栄養士による食生活相談を学内で実施し、事故や病気を事前に予防するための活動にも積極的に取り組んでいます。生協は、皆さんが安心して充実した学生生活を送ることができるようお手伝いしますので、何でもご相談ください。



食生活相談



常三島地区 Dining キララ



自転車 無料点検



蔵本地区 キッチン さくら